



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World



会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員75名 出席65名 出席率86.67% 前回出席率73.33% 修正出席71名 確定出席率94.67%

第24代中江亮会長退任挨拶



会長の任務を離れるに際しこの1年を省りみて、私の所感を申し上げ、最終報告と致したいと存じます。

向笠R.I会長の“人類はひとつ”のターゲットを受けて、世界中のロータリアンは至る

処で友情の橋をかける奉仕活動をされてきたと思いますが、私達鶴岡クラブにとりましては、今年は奉仕のしかいと、手ごたえのあった年度と思います。それは、とりもなおさず私達のクラブから地区ガバナーを出したという責任感と、ホストクラブとしての使命感からきた賜であろうかと思ます。

二度目の試練は、私達に与えられた総合奉仕のチャンスでもありましたが、我々は過去の経験を生かして強い連帯で地区年次大会のホスト役を務め、大会を成功に導いたのであります。この時私は鶴岡クラブは力のある、貯えのあるすばらしいクラブであると認識を新たにさせられました。

それは、経験豊かな諸先輩の厚い断層と無限の若き力を秘めておられる若い会員の献身的な行動が、1本の強い絆に結ばれたからであります。

R.I.会長代理英子珊ご夫妻を初め、海外からも多くの姉妹クラブロータリアンが参加された事は、R.I.向笠会長が強調される友情のかけ橋となったかとも考えています。

向笠会長の言われるターゲットの友情が、外へ向けてのものであるならば、内なる親睦はクラブ活動

にとりまして欠くことの出来ない原動力であり“泉”であり、豊かな常識と相俟って、計画の遂行の道程に於て常に和を優先させたつもりでありました。

扱て、年度の前半期はクラブのエネルギーが年次大会に注がれていましたので、プランの達成が大巾に遅れ、気がついた時は既に遅く、X'masの鐘が鳴り、正月も過ぎた1月18日の公式訪問の時でありました。ホストクラブとして満足な手土産も持たずに石黒ガバナーの前に出る事は辛い思いでありました。“計画は必ず達成します”と心臓強くお答えしましたものの、会員増強はそのとき“ゼロ”でありました。あせる心を抑えながら、各委員長さんのお力によって懸命の追い上げを試みた結果、ほのかな明りと自信を抱くようになり、安堵の胸をなでおろしたところへ、3月24日鹿児島西R.C.創立記念式典、5月10日には同じく12周年式典で台中港区R.C.を訪問するためにクラブを離れた時の心境は、本当にやりきれないものがありました。

以下その後の成果についてご報告したいと存じますが、全委員会の計画の平均的な達成などは、とても不可能であり、1年間の中では無理と考えましたので、部門別のバランスをとる事を心掛けたのであります。その結果は、何れ活動計画書をご覧頂くことにしまして、本日はその中から注目すべきものについてのみ申し上げたいと思います。

○先づ最初に今年度中に新しい会員が12名入会されたこととあります。この方々は職業分類上でも、社会的にも立派な一城の主ばかりで、私はこの年

庄内空港の建設を推進しましょう

度にこのようなすばらしい素材を仕入れる事が出来たことを誇りに思い、推薦者に感謝致しております。この上はクラブの資産勘定に入れ次期に繰越して大事にしたいと思います。

しかしながらこの華かな反面、古き良き時代の先達であられた、斎藤栄作さん、風間慶三さん、そしてパストガバナーの早坂源四郎さんが他界されたことは誠に残念であり、寂しい思い出となっております。

- 次に歴代必ず取り上げられ改善を要望されてきた例会場の食事や雰囲気作りであります。石川委員長をはじめS.A.A.の方々が心を砕いてのご努力は、私が申すまでもなく、会員の皆さんが感謝と共に高く評価して戴けるものと思います。S.A.A.さんはこわい方が良いかも知れません。
- 更に私が是非ともお願いしたのが、新しい会員に対するロータリー情報の研修でありましたが、小池委員長以下の委員のご努力で3回実施され、その何れもがファイヤーサイド方式で研修に夢中の余り、予定の時間を大きく食いつぶす程の勉強ぶりでありましたが、本当に委員会の魅力の成果と感謝致しております。
- 青少年部門について申し上げますが、当初から私の意図は、インターアクト、ローターアクト、青少年の3委員会には共通の問題点が多いので、委員長にはすべて若い会員をあて、かなめとして弁護士であり、青少年問題に関心を持っておられる津田さんをお願いしたのであります。I.C.の指導者講習会、R.A.C.の10周年行事、R.Y.L.A.の研修、教育関係者等3回のスピーチを経て、4月に入ってから3週連続のプログラムを組んで実施された、パネルディスカッションの成果の特集がクラブ内外に好評を呼び、地区の関係委員会から資料の提供を求められたほどでした。これを土台として今後具体的な奉仕活動が行われる事を期待したいと思います。
- 国際奉仕部門では、新穂恵さんの交換派遣の決定ベトナム難民の救助寄附、米山の募金等著しい活動の足跡を残されましたが、なかんずく財団では

佐藤委員長を中心に委員会のめざましい活躍により、P.H.4名、P.H.S.23名という、地区では最高の成績を挙げられました。本当にむずかしい仕事でありましたが、ご努力に敬意を表します。

- 職業奉仕部門は担当者が地区の役員を兼ねておられたせいもあり、平常の活動程度に終わりましたが、
- 社会奉仕部門に於ては、新設の社会環境委を中心に、数多くの新しいテストに成功しました。
- 会報の内容は、本年度の行事を反映して記事も豊富で、クラブ記録資料の価値としてすぐれ、又担当者の編集の特長がにじみ出て、スマートで比類のない立派なものと思います。
- 出席は依然として古い伝統を守り続けて、今年度も92%程度になるかと思いますが、6月9日の創立記念日の6月7日の例会には100%のクラブ記録を作ったことは思い出になり、又これから出席率向上の足がかりとなると期待したいものであります。
- 今年は更に姉妹クラブとの往来があり、年次大会にわざわざご参加下さった鹿児島西R.C.には、3月24日の創立20周年記念式典に8名が参加、また5月10日の台中港区R.C.創立12周年記念式典には7名がお祝いに行って参りました。

以上、荒削りに申し上げましたが、私が1年間の会長在任中、皆さんの負託に充分にお応え出来なかった事を深くお詫び致し、大過なく過すことが出来た事は、理事、役員を初め会員の皆さんと、山下さんのご協力のお陰に依ることは、論を俟たないが、“誠心誠意”クラブの仕事を忠実に処理され、1年間例会を殆ど休まずにご協力下さった、有能な佐藤元伸幹事の力強い支えの賜であったと、心から厚くお礼を申し上げたいと存じます。

この報告を持ちまして、私の会長退任のご挨拶と致します。皆様有難うございました。

佐藤元伸幹事退任挨拶

会長さんを始め会員の皆様方のご指導により、何とか無事に幹事を努める事が出来ました。心からお



礼申し上げます。

私の場合は、前幹事さんのあたたかいご友情により、見習い期間を充分取って頂いたので、本番の方へスムーズに入る事が出来ました。本来ならば幹事として当然やらなければ

ならない仕事の大部分を、山下さんにお手伝い頂きました。本当に有難うございました。彼女と1年間おつき合い頂きましたが、彼女には何んとお礼を申し上げるべきか、仮に将来女性会員がロータリーに入会出来る事になりましたら、第1番に推薦致したいと考えております。

各担当の委員長さんや、委員の方々に私がいたらないばかりに大変ご迷惑をおかけしたことも多々あったと思いますが、その分はまだロータリーをやめるわけではありませんので、時間をかけて少しずつでもお返ししていきたいと思っておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

幹事をやらさせていただいて、特に感じた事なのですが、当クラブは本当にすばらしいクラブだと思います。他クラブの幹事さん方からいろいろ話を聞きますと、特に当クラブの良さがわかってきました。昨年来、大先輩の斎藤得四郎さん、斎藤栄作さん、風間慶三さん、早坂源四郎さんと次々にお亡くなりになりましたが、私にとっては親睦会やその他の酒の席等で、ロータリーの事や、それ以外の人間として、ロータリーや仕事に関する心構え等含めて教えて戴いたと考えております。今後も会員の皆様方から、いろいろ教えて戴きながら、ふれあいを大事にしていきたいと考えております。

本当に1年間お世話になり有難うございました。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 例会変更のお知らせ

○酒田R.C. 6月29日(水)の例会は年度末懇親会の為

日 時 6月29日(水) 18:00

場 所 ホテル リッチ酒田

会 費 2,000 円

○酒田東R.C. 7月7日(木) 3:00 ~
湯の浜 宮嶋

○立川R.C. 6月30日(木)の例会は創立記念
例会の為

日 時 6月30日(木) 18:30

場 所 庄内ドライブイン

登録料 4,000 円

2. 特別養護老人ホーム しおん荘増築工事

竣工式典並に祝賀会への招待状が参っております。

日 時 7月5日(火)

3. 市民憲章制定20周年記念行事に係る表彰のご推薦の依頼について

4. 新入会員の紹介

白坂 久君 (日本交通公社鶴岡支店長)

ガバナー事務所スタッフより

小松 広穂 君

私達6名あと2日を残して任期を終ろうとしております。何も解らない私共でしたが、石黒ガバナーのご懇篤なるご指導によりまして、一糸乱れぬと申しても過言ではないと思っておりますが、私の指図通りに5人の方に動いて頂きまして、とどこおりなく、大過なく任務を終えようと致しております。これ一重にホストクラブの皆様のご友情の賜と厚くお礼申し上げます。

特に地区大会におきましては、事務局のスタッフとしてお手伝いもしないのに、あのような見事な地区大会が演出され、他の参加ロータリアンより絶賛をばくしたというようなことにつきましては、ああすれば良かった、こうすれば良かったという気持ちが一杯です。

又、ガバナーが病気で倒れ、2度に亘って公式訪問延期ということがあった際も、先生の遠方の送迎は私共でやろうではないかと言葉をかけてくれた方も数名おり、ご友情に対し私として感激したことが、昨日のように思い出されます。

この1年間、皆様から寄せられましたご友情と励

ましの言葉によりまして、無事終る事が出来ました
ことを厚くお礼申し上げます。

一同を代表致しましてスマイルさせていただきます。

N.B.市リンチ市長歓迎について

三井 徹 君

来月29日、N.B.市リンチ市長が盟約締結20年を記念して、鶴岡を公式訪問されることとなりました。

種々歓迎の準備を致しますが、私共R.C.がこの両市の盟約について、初めからかかわりを持っておりました。初代の当R.C.の小花会長がN.B.へ参り盟約が出来たのでございます。当時の松木市長との間にその計画をご相談されたようですが、色々調べてみますと、小花先生の方から熱意あるアイデアが出たのではないかと考えられます。

高木三郎さんの実績があったことが基となっているわけですが、この他に小花先生が当時結核が非常に猛威を奮っていた時代で、結核の治療薬のストレスマイシンを開発されたワックスマン博士が、N.B.市のラトガース大学内の微生物研究所で活躍されておられ、そのワックスマン博士に対する小花先生の敬慕の念が非常に強くて、これらのことが盟約の原動力となったのではないかと考えられます。

盟約当時は色々交流もあったのですが、その後だんだんと交流がうすれ、ここ10年余り交流がありませんでしたが、昨年あたりから交流の兆しがみられまして、去年は当市の市長がN.B.市を訪問し、今度はN.B.市の市長が参ることになりました。

N.B.市長の歓迎のプログラムも追々出来上ると思いますが、どうぞ全面的に盛り上げて頂きたいと思っております。

殊に30日の友好協会主催の晩餐会を第1インで予定しておりますので、これにはロータリアンの方々ご夫人同伴で多数ご参加願いたいと思っております。

ロータリー財団委員会

佐藤 衛 君

先程は中江会長さんよりお誉の言葉を賜り大変恐縮致しております。これも会員の皆様のご協力の賜と厚くお礼申し上げます。

この度、会員の嶺岸光吉さんが、従来のP.H.準フェローでありましたが、差額のご寄附を頂きましてP.H.フェローになりました。

又、会員の諸橋政積さんが、P.H.準フェローになれるご寄附を頂戴致しております。ご二人のご奉仕に対して盛大な拍手をお願い致します。

鶴岡 R. C. 最終例会での謝辞

石黒 慶之助 ガバナー



皆様に大変お世話になった向笠年度も明後日で終わります。今から3年前G.N.に就任して以来、小松、嶺岸、新穂、中江と4代の長い会長年度に亘り、皆様の想いやりあるご支援によりやっとここまで参りました。

愚直そのものの風庸な私を、重責あるガバナーにご推挙いただき、全面的にご支援下さいました。長い間よくぞ最後までご支援下さいました。心から厚くお礼申し上げます。

私は人生70年の間、このような多忙な、しかも充実した日々を送ったことはありません。初めより毀誉褒貶にこだわらず、唯々誠実に力一杯やるだけと覚悟を定めて向ったのですが、それですら能力の限界を越えるような、あとからあとからと押し寄せてくる仕事量に悩みながら、無我無中で過したと言つてよいと思っております。

ロータリー手帖に自らを制御し、ロータリーに専念するよう、いましめというか、信条というかを記入し、困難に遭遇すればこれを読み、冷静さを取り戻すよう心掛けて参りました。更に不慮の発病で皆様に大変ご心配をかけましたが、私自身はそんなに

目録

一 国旗

旗幟、三才剣、三脚台付

国名 日本、アメリカ

オーストラリア、カナダ

中華民国、大韓民国

フィリピン、マレーシア

一 収納ケース 四箱

右の品R・C・O・五三地区ガバナー

在任記念として寄贈致します。

昭和五十八年六月二十八日

石黒慶之助

鶴岡ロタリクラブ 殿

苦しまず、与えられた任務への支障のみを案じ、ロータリーの停滞を恐れませんでした。

皆様はこの不甲斐ないガバナーを善意に満ちた暖かい友情をもって最後までご支援下さいました。今ガバナーの任期を終えようとする時、感謝の気持ちで一杯であり、充ち足りた満足感に浸っております。

私は本当に幸せな奴だなあノと思っております。その幸せは、

- (1) ホストクラブの全面的な支援—歴代の会長が先頭に立って私の行動に総力をあげてご援助下さいました。ガバナーとしての活動の根源
- (2) ガバナー事務所スタッフの終始変らぬ支援 (家族ぐるみ) (小松地区幹事引き出したのは大成功でした。スタッフは常に幹事を中心に頑張りました)
- (3) 分区代理の協力一致した支援 (10人の方々が私の方針を傘下のクラブに伝達するよう真剣になってくれた)
- (4) 私が主催した会合は全て晴天、事故者なし
- (5) わが地区の先輩ガバナー及びノミニーも私の意見を援助され、善意と寛容をもって協力して下さいました。

過去に於て、こんなに恵まれたガバナーは少なかったと思います。

これ一重にホストクラブ全員の暖かいご支援の賜であり、私に、ことに皆様に満腔の感謝を心から捧げます。皆様のご好意に対し物をもって感謝することは不可能です。しかし私の心のほんの一部として大会の剰余金より、登録料を除いた分をクラブへ還元したいと考えております。

○国旗の贈呈

クラブの国際性を更に尊重するため、私個人でホストクラブへ8ヶ国の国旗をお贈りいたします。所有権は鶴岡R.C.で保存願ひ、必要に応じ庄内分区各R.C.へもお貸し下さい。

田中ガバナーの訪問の時にも使用して頂ければ幸せと思います。

私が地区の任務中、夢中になっている間、斎藤得四郎、斎藤栄作、風間慶三、早坂源四郎の各氏がお亡くなりになられ、残念至極と思っております。しかし前途を嘱望される新会員が沢山入会された喜びを知りました。

善意に対する信頼を失えば、世の中は暗黒となる。任期終了後は皆様と共に会員の一員として奉仕の機会を与えて下さるようお願い致します。

クラブの進歩発達に最も害するものは、青年の過失でなく、老人の跋扈であることを心して、皆様と共にロータリーを楽しんで参りたいと自戒してまいりたいと思います。本当に有難うございました。

石黒ガバナー 謝辞

会長 中江 亮君

石黒先生、1年間の大任本当にご苦勞様ございました。さぞかしお疲れの事とお察し致します。

昨年7月1日めでたくガバナーにご就任され、地区協議会年次大会という大行事を主催されたほか、76クラブの公式訪問という超人的なハードスケジュールを全うされ、更に国内、国外へとロータリーのため東奔西走せられ、この間には突然のご病氣、ホストクラブ会員一同非常にご心配申し上げましたが無事ご病氣を克服され、地区クラブへのご指導を続けられました事、私共一同心からお喜び申し上げます。

肩のこらない親しみ易いガバナーの定祥が地区内に拡まったところで無事その任期を終えられようとするとき、私達会員はクラブの名誉であり、誇りである石黒先生のご指導に感謝すると共に、今後共

体に気をつけられてロータリーの為一層のご指導をお願い申し上げてお礼の言葉と致します。

亦、本日石黒先生からは高価な万国旗を当クラブに寄贈して戴き、大事に致したいと存じます。

当クラブからも、会員一同の気持ちとして記念品をお贈りいたします。

任期満了の会長、幹事へ謝辞

石黒慶之助ガバナー

中江亮会長、佐藤元伸幹事、1年間の会務担当、誠にご苦勞様でした。お2人を中心とした鶴岡R.C.の奉仕活動は、目を見張るご活動であり、赫たる行績は長くたたえられると思います。

- 今年にはガバナーを出したので、地区スタッフと大会実行委員会に有能な会員を送り出したため、会長は人事に苦勞されたことと思います。
- クラブの行績を上げようとしても、年次大会の準備で前半は手が出なかったことと思います。
- 年次大会などに出費が多く、臨時会費も取れず、緊縮財政を強いられたと思います。

これら3つの困難を乗り越えられて、僅か実働6ヶ月の間に、次の3つの成功をなしました。

- 地区年次大会の陰の力となったこと。更に会員全員、ご家族にまで奉仕の精神を浸透させたこと。
- クラブの発展、会員増強を最後まで遂行し、優秀な新会員を迎え、又出席率100%例会を出したこと
- 国際奉仕 抜群のロータリー財団の活動で一挙に1,000倍の増となり、更にN.B.市への親交を高め台中港区を始め台湾との交流を深められた。

このような優秀な成績をあげた会長・幹事に心から敬意を表します。

R.I.へ地区内の優秀会長として4名推薦し、その中の1名に、中江亮会長を推しました。

会長、幹事の労をねぎらい、心から盛大な拍手をもって、感謝の意を表したいと思います。

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 半田茂弥君

余目R.C. 佐々木尚伸君

(今週の担当者 松田貞夫)

